

# 丹寿の風

題字：丹寿荘(特養)利用者 菊川ちよ様

発行者

兵庫県丹波市市島町上竹田 2336-1

社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 丹寿荘

電話 0795-85-3251

FAX 0795-85-0075



地域貢献・地域交流をとおして

丹波圏域の高齢者福祉をリードする総合福祉施設 丹寿荘

丹波市(旧市島町)は「愛育のまち」としての理念があり、施設開設以来、地域から様々なご協力とご支援を受けてきました。また、地域への貢献事業や地域交流等を積極的に展開するなど、地域とともに歩んできて、今日の丹寿荘があると考えております。

# ～地域貢献への取り組み～

## 家庭介護実践ワンポイント講座

(6月7日～7月12日)

今、介護は誰にとっても身近な問題です。丹寿荘職員が講師を務め、地域の在宅介護をされている方、これから介護をはじめの方等を対象に週1回ずつ6回シリーズで開催しています。実践に即した～がんばりすぎない介護をめざして～、地域の介護力の向上とマンパワーの養成を目指しています。

平成23年度は、内容をより充実させて実施する予定です。



## 高齢者セミナー (12月5日)

ライブピアいちじまにおいて、日本音楽療法士学会認定音楽療法士・兵庫県音楽療法士 梅谷浩子先生を講師として「音楽をとおして心豊かなくらしを～高齢者介護の現場から笑顔の発信～」と題して、講演とワークショップを組み合わせた、音楽での援助方法を体験するセミナーを開催しました。

講演に先立ち、グループホーム「元気100倍合唱団」のミニコンサートを披露し、参加者からも「元気をもらいました」との感想をお聞きしました。

テーマは変わりますが、今後も丹寿荘から地域に発信を続けたいと思います。



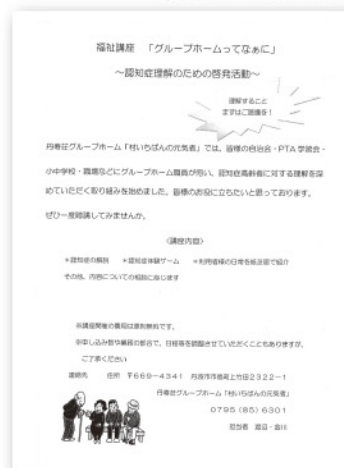
## 福祉学習会「グループホームってなあに」

### ～認知症理解のための啓発活動～

グループホームでは平成22年度事業の一環として、地域と支え合う仕組みづくり、地域に開かれた施設運営の理念の元、「認知症理解のための啓発活動」を行っています。今回は前山小学校において4年生の生徒を対象に、福祉教育の学習会を行いました。劇による認知症の高齢者に扮した職員に、買い物に来て困っているという設定で、どのように対応すればよいのか考えてもらう学習では、どの生徒も熱心に、知恵を絞って接しようとする姿が印象的でした。学習を終えた生徒には認知症サポーターの証である「オレンジリング」が授与されました。この学習会が、子供達の今後の福祉の心を養っていくきっかけになればと思います。



### 案内リーフレット



### H22.2.5 毎日新聞



# ～地域交流への取り組み～

## 琴親会（7月12日）

特別養護老人ホーム・デイサービスで指導されている音楽療法士の先生の紹介を受け、大正琴と日本舞踊を披露して下さる琴親会8名の訪問がありました。懐かしい曲を演奏され大正琴の繊細な音色や、しなやかで美しい舞に利用者様は魅了されていました。



## ダンスひまわり（8月19日）

8月19日に介護者教育室で「ダンスひまわり」との交流会がありました。艶やかなドレスに身を包まれた女性と紳士的な男性との様々な社交ダンスに見とれる利用者様も多く、衣装の着替えの間にはカラオケを披露していただきました。最後には扇子を持ち太極拳の舞で、いくつかの大きな扇子を手にした利用者様は、演技者の舞に合わせて扇子を振って広げ、その音が室内に心地よく響きました。



## 納涼祭（8月8日）

始まる直前に大雨が降り、今年はできないかとあきらめかけた頃、ぴたっと止み、少し遅れて始めました。

地域の市島郷土民踊保存会・市島地区婦人会のみなさまの踊り、氷の川太鼓の勇ましい響き、たこ焼き・おでんなどの夜店、お待ちかねの福引き、花火などの催しに早く時間がたちました。今年は日曜に開催したこともあってたくさん地域の方々のご参加がありました。

内容を工夫しながら、地域とのふれあいを今後も継続していきたいと思っております。



## 民謡秀教会（9月18日）

9月18日に敬老の日の行事として、民謡秀教会の皆様を招き、利用者様のご長寿をお祝いさせていただきました。総勢24名の方が来荘され、昔懐かしの歌を三味線や踊りを披露していただき迫力満点でした。利用者様の知り合いの方もメンバーとして何名か参加していただいております、楽しく交流させていただきました。今後も機会があれば是非、披露していただきたく思います。



## 人権啓発（9月2日）

丹波市内で学校等を中心に人権の啓発をされている柏原人権擁護委員協議会の委員が来荘され、手作りの人形劇（ペープサート）「花さき山」を見せてくださいました。山の中に咲く不思議な花により、優しい心がいっぱいになるという内容でした。利用者様も人形劇を楽しまれ、その後数名が人権相談を利用されました。



## ふれあいギャラリー（平成22年8月～）

利用者様や地域から信頼され選ばれる施設づくりとして、地域の方が楽しんでいただける場と機会を提供するとともに、利用者様との交流を図るため、「ふれあいギャラリー」を設置しました。定期的に地域の方たちから作品を提供いただき、施設で鑑賞ができます。

昨年の8月には市島 OB 大学写真部の写真、11月から「ビオラの会」の水彩画、2月からは市島町在住の身体障がい者の方が生きている喜びを表現された作品を展示します。



# ～事業所の取り組み～

## 特養

### 外出支援

特養では、外出支援を強化しており、利用者様の希望に添って買い物やお墓参り等外出先を決めています。利用者様からは「行って良かった。ありがとう」「楽しかったよ。また連れてって」等感想を頂いています。一人でも多くの利用者様が笑顔で外出先から帰荘して頂けるよう今後も支援いたします。



### ケアカンファレンスへの家族参加

ケアカンファレンスでは参加して下さるご家族から、自宅での利用者様の様子やご家族・利用者様の希望等をお聞きし、利用者様とご家族が安心して丹寿荘で生活していただけるよう取り組んでおります。



### 映画鑑賞「愛染かつら」大盛況

丹寿荘では毎月2回、介護者教育室で映画鑑賞を行っています。各ユニットから介護者教育室までの送迎をボランティアの方にお願ひし、一緒に映画や会話を楽しまれています。中でも11月19日に放映した「愛染かつら」はとても好評で、沢山の利用者様が鑑賞されました。



## 生活訓練

今年度から丹波市の委託を受けて取り組んでいる生活訓練事業として季節行事も行っています。

### いきいき、さわやか日帰り旅行

9月24日(金)に利用者様5名と職員5名が、リフト付バスにて須磨海浜水族園と須磨離宮公園へ日帰り旅行をしました。須磨海浜水族園では、家族へのおみやげを買われたり、たくさんの生き物を観賞されるなど、楽しい時間を過ごされました。



クリスマスケーキ作り

12月24日(金)に利用者様7名、職員6名でクリスマスケーキを作りました。

管理栄養士が準備したフルーツや生クリームを利用者様一人ひとりが飾り付けし、それぞれ個性のあるケーキができました。自宅に持ち帰って「誰に食べてもらいたいか」という話題で盛り上がりました。

## デイサービスセンター

### 干支作り

毎年恒例となった干支作りです。今年は近隣の方から頂いた竹を職員が加工して部品を作り、利用者様に組み立てていただいて可愛いウサギさんの出来あがりです。

工作や手芸に長けておられる方も多く、昔とった杵柄で器用に手先を動かされ、お家のどこに飾ろうかと話に花が咲きました。



### 機能訓練

丹寿荘デイサービスセンターの魅力の一つは、やはり広い空間と充実したリハビリ機器でしょう。

利用される仲間がそれぞれに動かれると、自分もじっとしておれないという気持ちになられるようです。

特養に続く広く長い廊下もあり、雨の日でも歩けると好評です。



今年度から取り組んでいる事業（いきいきクラブ）の一環として、職員が創作するゲームを取り入れました。名付けて「リハビリ双六」と「お手玉パチンコ」です。但馬長寿の郷から派遣の理学療法士の方にも知恵をいただいて、楽しいレクリエーションゲームの中にリハビリを組み入れています。

#### お手玉パチンコ



地域の方にいただいたり、利用者様が作られたおじゃみを使ってのパチンコゲーム。昔はパチンコよーしかったわ。

### 創作ゲーム

#### リハビリ双六



職員考案のリハビリ双六。足踏みを20回、歌をうたう等。おかげで身も心も元気です。

## グループホーム

### 元気100倍屋台村を開催しました

グループホームでは10月17日（日）に「元気100倍屋台村」を開催しました。当日は、利用者の皆様はそれぞれに、手芸品の販売やお茶席の担当など、生き生きとした表情で会場を盛り上げてくださっていました。当日は、天候に恵まれ、地域の方々やご家族様が来訪され、終始和やかな雰囲気でした。



### 元気100倍合唱団コンサート活動 前山小学校の音楽会に出演しました



グループホームでは、平成22年11月20日丹波市市島町の前山小学校で行われた、前山っ子フェスタに、元気100倍合唱団のコンサートとして参加させていただきました。当日は、9人の利用者様が代表として出ていただきました。皆様緊張されると思っていましたが、移動中も笑顔が絶えず、とても良い表情をされていました。利用者様は、日ごろの練習の成果を十二分に発揮され、「虫の声」「村祭り」の2曲を元気に披露されました。その後、前山っ子フェスタを堪能され、笑顔のうちにグループホームへ戻られました。地域の方々に元気をお届けできた一日になったと思います。

## SRIスポーツ(株) 野菜などの寄贈

8月には丹精込めたスイカを、また12月には立派な白菜や大根をSRIさんからたくさんいただき、漬物やユニット毎に工夫した調理により利用者様に召し上がっていただきました。

SRIさんは、毎月草刈り・花壇づくりなどの環境整備や車いすの清掃など定期的な奉仕活動のほか、年末には門松を寄贈いただくなど、いろいろご配慮くださっています。



## 職員表彰

全国社会福祉協議会会長表彰	小野山 佳代子
兵庫県社会福祉協議会会長表彰	堀 井 義 博
兵庫県社会福祉事業団 永年勤続職員表彰(20年勤続)	岡 崎 みほこ

## 職場紹介

**支援課(事務所)**は支援課長、生活相談員、特養本体ケアマネージャー、短期ケアマネージャー、1階フロアリーダー、2階フロアリーダーの6名で構成しています。日中はユニットで仕事をしていたり、関係職種との調整で事務所を留守にすることが多いメンバーです。仲がよく夕方から夜にかけては事務所で和気あいあいと、デスクワークにいそしんでいます。課長以下、それぞれが職員の見本となるべき立場の職員であり、そのことを肝に銘じて日々、業務に就こうと話合っています。



## 《寄せられた苦情やお褒めの言葉などの公表》

利用者様やご家族等から寄せられた苦情やお褒めの言葉を施設内に掲示するとともに、機関紙にも掲載します。

### ご意見・ご要望等に関する対応 (H22年9月~10月)

受付年月日	事業所名	ご意見・ご要望等の内容	対応内容
H22年 10月1日	特別養護 老人ホーム	毎月の行事はユニットの掲示板などに貼られていると思うが、映画会や売店等の予定を本人は知らない。 毎月の行事予定表を前もって本人に渡してもらおうと予定を立てやすく、心の準備も出来るので、そのようにしていただきたい。	毎月の行事予定表をユニット内に掲示しておりますが、利用者様にとって解りにくいということで、申し訳ありませんでした。 ご本人様の部屋に文字を拡大した行事予定表を貼らしていただくようにしました。 [ご希望される利用者様に対して、事前配布などをさせていただきます。]

### お褒めいただいた言葉 (H22年9月~10月)

受付年月日	事業所名	お褒めいただいた内容
H22年 10月1日	特別養護 老人ホーム	本人の希望に添った外出(案山子祭りの見学や図書館訪問等)を行っていただき、ありがとうございます。 お願いしたことを早速実行に移していただき、本人も感謝しております。

## 編集後記

今回は地域との関わりを中心に、月毎に特色を出した丹寿荘内の一場面や、それぞれ季節感を出すよう工夫した飾り付けなどを掲載しています。今後も、機関紙を通じて施設の取り組みを発信していきたいと思ひます。



※ 写真についてはご本人の了承を得ています。